

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立青山中学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

《学力状況調査結果の概要》

- ・国語、数学のすべてにおいて、全国の平均正答率を大きく上回る結果となりました。
- ・国語の問題については、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全てにおいて全国平均正答率を上回りました。特に「思考力・判断力・表現力等」を図る問題では11.9ポイント上回り、「記述式」の問題では19ポイント上回りました。
- ・数学の問題については、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全てにおいて全国平均正答率上回りました。特に「思考力・判断力・表現力等」を図る問題、「記述式」の問題ともに、17.4ポイント上回りました。
- ・国語、数学ともに無回答率が低く、国語や数学の記述式の問題についても「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合が全国平均を大きく上回り、粘り強く取り組む姿勢がうかがえます。

《学習状況調査（生徒質問紙）の結果》

本校の強み

- <「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合が高い項目>
 - ICT 機器を活用し、わからないことを調べる
 - 朝食を毎日食べている
 - 友達や周りの人の考えを大切に、協力して課題解決に取り組む
 - 人の役に立つ人間になりたい
- <「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より上回っている項目>
 - 自らの学びを振り返り、次の学習につなげる
 - ICT 機器を活用するなどして、自分の考えや意見が伝わるように工夫をして発表をする
 - 課題解決に向けて、自分から取り組む
- ◆本校の強みとして、①規則正しい生活を送っている、②自分の考えをもつと同時に、友達や周りの人の考えも大切にして取り入れながら、課題解決に取り組んでいる、③ICT 機器を積極的に活用し、調べたり発表したりしている、④人のことを考えて行動しようとしている、ことがうかがえます。

本校の弱み

- <「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合が低い項目>
 - △教員が生徒のよさを認める
 - △将来の夢や目標をもつ
 - △自分のよさを認める
 - △学級での話し合いを生かして、努力すべきことを決めて取り組む
- <「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より下回っている項目>
 - △教科の学習への関心
- ◆本校の弱みとして、①学習や活動に積極的に取り組んでいるものの、それらが自らの生活や将来にどのようなつながっていくのかを意識した学びになりえていない、②積極的な生徒への声かけや指導・支援に努めてはいるものの、生徒が自分自身のよさに気付いたり、教員が生徒のよさを認めたり引き出したりすることがまだまだ十分にできていない、ことがうかがえます。

《今後、学校が取り組んでいくこと》

- 「八草伸」の取組を柱にして、生徒が自らの「善さ」に気付き、それらを伸ばそうとする姿勢を認めながら、主体的な教育活動を推進していきます。
- 人間関係づくりの力やレジリエンスを高める視点を、授業や学校行事、諸活動に取り入れていきます。
- 生徒が学びの意味を見出したり、学んでいることと実生活とのつながりを実感したりできるような授業づくりをすすめていきます。